

特 別 入 試

1 2020年度特別入試（推薦入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔教育, 芸術, 経済〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2020年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2020年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部	学科・コース等	方式	募集人員	セ試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	学校教育課程 幼小連携教育コース 特別支援教育専攻	推薦Ⅰ	5	×	(1) 将来、特別支援学校や小・中学校等で特別支援教育の仕事に携わる教員になることを強く志望する者 (2) 高等学校の調査書における評定平均値が3.8以上の者	調査書、推薦書		基礎学力試験（外国語）、小論文、面接	11/29	12/9	
	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主専攻	推薦Ⅰ 〔佐賀県枠〕	7	×	(1) 佐賀県内の高等学校を2020年3月に卒業見込みの者 (2) 将来、佐賀県下の小学校教員として活躍を期待するに十分な意欲、資質、適性等を有する者 (3) 高等学校の調査書における評定平均値が4.3以上の者	調査書、推薦書、志望理由書	1次	佐賀県教育委員会による書類審査	11/1～11/8	—	11/19頃
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野	推薦Ⅰ	5	×	学業成績、人物ともに特に優れ、芸術表現や当該分野に関して興味関心がある者、又は優れた経験・知識・技術・実績及び熱意がある者	調査書、推薦書、ポートフォリオ		面接（口頭試問を含む）、実技検査	11/1～11/8	11/29	12/9
経済学部	経済学科	推薦Ⅰ 〔商業系〕	10	×	(1) 全体の評定平均値が4.3以上の者で、人物、学力について優れる者 (2) 2019年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、志望理由書、特色加点申請書（任意）	小論文、面接（口頭試問を含む）	11/1～11/8	11/29	12/9	
	経営学科		20								
	経済学科	推薦Ⅰ 〔普通系〕	10	×							(1) 社会科学にとりわけ関心があり、かつ、人物について優れ全体の評定平均値が4.0以上の者 ただし、次のうちいずれかの要件を満たす者 ①成績優秀な者（外国語については評定平均値4.3以上） ②社会事象についての分析や、社会的活動等において優れた実績があり、それを裏付ける資料のある者 ③個性的で積極性に富み、高等学校長が、大学生活においてその能力を充分に発揮できると評価し、推薦に値すると思われる者 (2) 2019年度中に高等学校の卒業を認められた者を含む
	経営学科		10								
経済法学科		10									

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部）に記載した学校及び施設を示す。

※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 調査書・推薦書の評価基準 学業成績、修学状況、部活動、社会活動等を見ます。</p> <p>(2) 小論文の評価基準 出題されたテーマに対して、テーマの解釈、構成、論理の展開、視点の独自性、表現能力を見ます。</p> <p>(3) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 勉学意欲、特別支援教育への興味・関心等を見ます。</p> <p>(5) 合否判定基準 書類（調査書及び推薦書）、小論文、基礎学力試験、面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・外国語はコミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ</p>
<p>(1) 調査書等の評価基準 学業成績が優秀かどうか、教職を目指す強い意志を持ち、教員になるための基礎的な資質、能力を兼ね備えているかを、調査書、推薦書、志望理由書等により評価します。</p> <p>(2) 小論文の評価基準 資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(3) 面接の評価基準 志望動機、学習意欲、積極性、コミュニケーション能力について評価し、将来小学校教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(4) 基礎学力試験の評価基準 高等学校の教科書程度の内容が十分理解できているかを、基礎的な問題によって評価します。</p> <p>(5) 合否判定基準 基礎学力試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書、志願者の志望理由書を総合して、合格者を決定します。 佐賀県教育委員会による第1次選考（書類審査）を行い、その選考結果は、2019年11月19日(火)頃通知します。 第2次選考については、第1次選考合格者に対して小論文、面接及び基礎学力試験を行い、各成績評価と書類審査の評価を総合して合格者を決定します。</p>	<p>・外国語はコミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ</p> <p>・数学は数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数Bで数Bは数列・ベクトル</p>
<p>(1) 調査書、推薦書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また、推薦書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4用紙で5ページ以内のファイルにまとめて提出してください。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 芸術表現を通して地域社会を考え、発想力、コミュニケーション能力等を有しているかを採点・評価基準とします。加えて、当該分野に関する口頭試問によって基礎的知識や制作活動の経験を把握し、当該分野に関する意欲の高さを評価します。</p> <p>(3) 実技検査の採点・評価基準 自らの手による表現力、発想力など芸術表現に関わる基本的な能力を有しているかを採点・評価基準とします。 静物着彩では、基礎的な造形力に加え水彩絵具による表現力なども総合的に評価します。粘土による造形表現では、基礎的な造形力と表現力などを総合的に評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）、面接及び実技検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・実技検査 静物着彩・粘土による造形表現から1 粘土による造形表現は、試験時に手びねり又はロクロ成形を選択 ・入学志願者が募集人員の約4倍を超えた場合は、書類（調査書、推薦書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書等の採点・評価基準 学習状況、クラブ活動等を見ます。</p> <p>(2) 特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） アドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動・実績を評価します。</p> <p>(3) 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</p> <p>(4) 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。</p> <p>(5) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</p>	<p>・商業系（商業高等学校の全科を含む）・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上）</p> <p>・特色加点について 「簿記」「情報」「英語」「商業経済」の4分野に関する資格・検定について、その難易度に応じて評価します。</p>
<p>(1) 調査書等の採点・評価基準 学習状況、クラブ活動等を見ます。</p> <p>(2) 特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） アドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動・実績を評価します。</p> <p>(3) 小論文の採点・評価基準 資料を提示の上、それについての読解力、着眼力、思考力、文章表現力等を基準として評価します。</p> <p>(4) 面接の採点・評価基準 高校生活の活動状況及び将来の学修意欲等について口頭試問します。</p> <p>(5) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書等）、小論文及び面接の成績を総合して判定します。</p>	<p>・普通科又はこれに準ずると本学部が認める科</p> <p>・出願要件の②については証明する資料を添付</p> <p>・特色加点について 校内外を問わず、高等学校在学中に主体的に取り組んだ活動や実績について申請してください。校内活動としては、体育系・文化系の部活動、生徒会活動、課題研究（探究型学習）など、校外活動としては、社会活動（ボランティア、地域活動）、海外留学、スポーツ活動、文化・芸術活動、検定・資格取得、課題研究（探究型学習）などが該当します。なお、「課題研究（探究型学習）」に関する活動とは、校内外を問わず、高等学校在学中に取り組んだ課題研究（探究型学習）に関する活動です。高等学校の総合的な学習の時間等での課題研究（探究型学習）といった校内活動、大学（本学または他大学）による高校生対象の課題研究（探究型学習）や、国・地方公共団体・企業・大学等が実施する課題研究型コンテストへの出場（ビジネスプランコンテスト、まちづくりプランコンテスト、社会科学系の論文コンテスト等）といった校外活動が該当します。</p>

2020年度特別入試（推薦入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

出願資格・出願要件（全学部）											
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2020年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2020年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す											
学部	学科・コース等	方式	募集人員	七試	出願要件	提出書類	段階	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
医学部	看護学科	推薦Ⅰ	20	×	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 将来、病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた看護職者あるいは看護学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2019年4月以降に高等学校卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、自己推薦書		小論文、面接	11/1～11/8	11/30	12/9
理工学部	理工学科 情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワークコース	推薦Ⅰ 〔情報系〕	2	×	学習成績、人物ともに優れ、科学技術に対する熱意と能力があると評価される者	調査書、推薦書、活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト、小論文、面接（口頭試問を含む。）	11/1～11/8	11/29	12/9
	化学分野 生命化学コース 応用化学コース	推薦Ⅰ 〔工業系〕	2								
	機械工学分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		4								
	電気電子工学分野 電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		4								
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4								
農学部	生物資源科学科 生物科学コース	推薦Ⅰ 〔専門系〕	3	×	(1) 学習成績、人物について優れ、自然科学に対する熱意と能力があると評価される者 (2) 学習成績概評が㊤として推薦できる者	調査書、推薦書、活動実績報告書		基礎学力・学習力テスト、小論文、面接	11/1～11/8	11/29	12/9
	食資源環境科学コース		2								
	生命機能科学コース		1								

※出願要件の「高等学校」とは出願資格・出願要件（全学部）に記載した学校及び施設を示す。

※「七試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる 良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決 しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる 上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優 れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を葆ち、学習意欲、積極性や協調性に富 んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価しま す。志願者本人による自己推薦書も同様に扱います。</p> <p>(4) 合否判定基準 小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	<p>・調査書の「4. 学習成績概評」欄に㉠と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 ・推薦人数は各高校2人以内</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指 導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく 逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、 「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学び を深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観 点から評価します。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について、評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書、活動実績報告書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合 格者を決定します。</p>	<p>・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指 導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく 逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、 「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学び を深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観 点から評価します。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について、評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書、活動実績報告書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合 格者を決定します。</p>	<p>・工業系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p> <p>・機械系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p> <p>・電気・電子・情報系の科、総合学科の専門科目単位取得者 （20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p> <p>・土木・建築系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指 導上参考となる諸事項」等について、出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から 著しく逸脱していないかを確認します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容につ いて、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自 ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能 性」の観点から評価します。</p> <p>(2) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、考察力、論理的思考力、表現力及び記述力を見ます。</p> <p>(3) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望コースに対する意欲等について、評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、推薦書、活動実績報告書等）、小論文及び面接等の各成績評価を総合して、合 格者を決定します。</p>	<p>・調査書の「9. 備考」欄に学習成績概評が㉠の理由を明記 ・専門系の科、総合学科の専門科目単位取得者（20単位以上） ・推薦人数は各高校の各課程から各コースに対し2人以内。ただし、 生命機能科学コースは1人 ・基礎学力・学習力テスト タブレット端末を利用して基礎的な学力を測るテストを行います</p>

2 2020年度特別入試（推薦入試Ⅱ）出願資格・選抜方法〔医〕

出願資格・出願要件（全学部）									
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月卒業見込みの者 (2) 特別支援学校の高等部を2020年3月卒業見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2020年3月修了見込みの者 (4) 高等学校長（※）が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は確実に入学できる者 ※ 高等学校長とは上記(1)～(3)の学校長を示す									
学部・学科等	募集人員	出願資格および出願要件	提出書類	評価基準	外国語				
					英語 筆記	リスニング	ドイツ語	フランス語	中国語
一般枠	20	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持つ優れた医師あるいは医学研究者として自主的な研究を積極的に進める才能を持つと期待できる者 (3) 2019年4月以降に高等学校の卒業を認められた者を含む	調査書、推薦書、自己推薦書	(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 (3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱いします。 (4) 合否判定基準 大学入試センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	◎◎				1
医学部医学科	18	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内の医療活動に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2020年3月に卒業見込みの者又は2018年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①佐賀県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 ②佐賀県外の高等学校を卒業又は卒業見込みの者のうち、佐賀県内の小学校、中学校のいずれかを卒業し、保護者が佐賀県内に2019年10月1日現在で3年以上在住している者（出願手続時に住民票あるいは戸籍の附票を確認） (4) 大学卒業後は、佐賀県内の基幹型臨床研修病院において、初期臨床研修（2年）を受けることを確約できる者	調査書、推薦書、自己推薦書、志願理由書、確約書	(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 (3) 調査書等の採点・評価基準 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを高等学校3年間の行動記録である調査書及び高等学校長の推薦書により評価します。志願者本人による自己推薦書も同様に取り扱いします。 (4) 合否判定基準 大学入試センター試験の成績、小論文、面接、高等学校長の推薦書、調査書等を総合して合格者を決定します。 なお、大学入試センター試験の成績が本学の基準を満たしていない場合、あるいは面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	◎◎				160
長崎県枠	1※	(1) 高等学校における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、長崎県内の地域医療に貢献したいという強い意思を有する者 (3) 高等学校を2020年3月に卒業見込みの者又は2018年4月以降に卒業を認められた者で、次のいずれかに該当する者 ①長崎県内の小学校又は中学校を卒業した者 ②長崎県内の高等学校を卒業又は卒業見込みの者 (4) 入学後は「佐賀県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者							一般枠と同じ

※推薦入試Ⅱ（長崎県枠）の募集人員については、現在、文部科学省及び厚生労働省に増員について申請中であり、変更することがあります。

3 2020年度特別入試（佐賀県推薦入学）出願資格・選抜方法〔医〕

試験方法：大学入試センター試験、小論文、面接、書類審査										
出願期間：（1次）2019年11月1日～8日、（2次）2019年11月20日～25日										
試験日：（1次）2019年11月16、17日、（2次）2019年11月30日										
合格発表日：（1次）2019年11月18日、（2次）2020年2月12日										
学部・学科等	募集人員	出願資格および出願要件	段階	提出書類	評価基準	外国語				
						英語 筆記	リスニング	ドイツ語	フランス語	中国語
医学部医学科	7※	(1) 佐賀県が責任をもって推薦できる者（佐賀県による第一次選考合格者） (2) 病める人の気持ちが理解できるような思いやりのある温かい心を持ち、将来、佐賀県内での医療活動に従事し、県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す者 (3) 高等学校を2020年3月に卒業見込みの者若しくは2017年4月以降に卒業を認められた者、又は、高等専門学校第3学年を2020年3月修了見込みの者若しくは2017年4月以降に修了した者で、いずれも高等学校等における調査書の学習成績概評がA段階に属する者（高等学校には、中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む） (4) 最終合格者は、必ず佐賀大学医学部に入学し、入学後は、「佐賀県医師修学資金」の貸与を受けることを確約できる者 (5) 大学卒業後は佐賀県内の基幹型臨床研修病院において2年間の初期臨床研修を受け、その後9年間は小児科、産科、救急科又は麻酔科の医師として佐賀県が指定する佐賀県内の医療機関で診療に従事することを確約できる者	1次	調査書、所信書、確約書	(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。 (2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。また、将来、佐賀県内での医療活動に従事し県民の健康と福祉の増進に寄与する医師となることを目指す意思の有無も評価の基準とします。 (3) 佐賀県からの推薦書等 単に学業成績優秀というのみでなく、規則的な生活習慣を保ち、学習意欲、積極性や協調性に富んでいるかを、佐賀県からの推薦書及び添付書類を参考に評価します。 (4) 合否判定基準 佐賀県からの推薦書等、小論文、面接、大学入試センター試験の成績を総合的に判断して、合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。	◎◎				1
			2次	佐賀県からの推薦書					160	

※佐賀県推薦入学特別入試の募集人員については、現在、文部科学省及び厚生労働省に増員について申請中であり、変更することがあります。

【表の見方】

- ◎は必須教科の必須科目、○は必須教科の選択科目。
- 大学入試センター試験では「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は必ず2科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は2つ合わせて「1科目」として扱う。
- 大学入試センター試験の理科における受験パターンをA～Dで表示。Aは基礎2科目、Bは基礎2科目又は専門1科目、Cは基礎2科目及び専門1科目、Dは専門2科目。
- 大学入試センター試験外国語の英語はリスニングの受験が必須です。
- 大学入試センター試験を利用する場合、必要な教科・科目のうち一つでも受験しなかった者は失格となる。

大学入試センター試験																				教科 科目数	書類審査 (調査書、 志望理由 書等)	小 論 文	面 接	合 計 点	その他要件等																			
数学					地理歴史・公民					理科					満点																													
国語	数学Ⅰ	数学Ⅱ	簿・情 科目数	科目数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経 科目数		基礎	専門	科目数																										
◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	2	5・7	◎	◎	◎	1,240	<ul style="list-style-type: none"> 調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等)による第1次選考を行う場合がある 推薦人数は各高校2人以内 																
160	160				80						D 160						720	280	120	120																								
一般枠と同じ																									<ul style="list-style-type: none"> 調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 保護者とは、子に対して親権を行う者、親権を行う者のないときは、未成年者後見人をいう。(本学における保護者の定義<学校教育法から引用>) 入学志願者が募集人員の約5倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある 																			
一般枠と同じ																									<ul style="list-style-type: none"> 調査書の「4. 学習成績概評」欄に④と標示する場合は、「9. 備考」欄にその理由を必ず明記 入学志願者が募集人員の約10倍を上回り、試験を適切に行うことが困難であると予想される場合には、書類(調査書、推薦書等(学校長推薦書))による第1次選考を行う場合がある 長崎県医学修学資金については長崎県福祉保健部に問い合わせ 																			

大学入試センター試験																				教科 科目数	書類審査 (調査書、 志望理由 書等)	小 論 文	面 接	合 計 点	その他要件等			
数学					地理歴史・公民					理科					満点													
国語	数学Ⅰ	数学Ⅱ	簿・情 科目数	科目数	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・政経 科目数		基礎	専門	科目数										
◎	◎	○	○	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	2	5・7	◎	◎	◎	1,240	<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県在住者だけでなく、日本国内の居住者を対象とする 第1次選考については佐賀県健康福祉部医務課に問い合わせ
160	160				80						D 160						720	260	120	140								<ul style="list-style-type: none"> 佐賀県が行う第1次選考を経て、佐賀県の推薦により佐賀大学医学部による第2次選考を受験する資格を得た者

4 2020年度特別入試（AO入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔教育，芸術〕

学部	学科・コース等	方式	募集人員	七試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
教育学部	学校教育課程 小中連携教育コース 初等教育主免専攻	AO入試Ⅰ	10	×	(1) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2018年4月以降に卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2018年4月以降に修了した者及び2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年4月以降にこれに該当する者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 英語、理数、音楽、体育、家庭のいずれかの分野に関して特に意欲・関心が高く、その分野に関する知識と技能が特に優れている者 (3) 入学後、初等教育を中心に学修を行う意欲を有し、将来、小学校等の教員になることを強く志望する者 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 活動実績報告書	小論文、面接（口頭試験を含む）、 志望分野に関する適性検査	8/15 ～8/26	9/25 音楽分野は 9/25・26	10/9
	学校教育課程 小中連携教育コース 中等教育主免専攻				8					
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 美術・工芸分野	AO入試Ⅰ	5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年4月以降にこれに該当する者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 芸術表現コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志願理由書、 ポートフォリオ	志望分野に関する適性検査、面接	8/15 ～8/26	9/26	10/9
	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野				5				9/25	
	芸術地域デザイン学科 地域デザインコース				15				(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 地域デザインコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	

※「七試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績）を評価します。</p> <p>(3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 志望動機、専門領域に関する知識や理解、修学意欲、積極性、コミュニケーション能力等を評価し、将来小学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書）、小論文、面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 英語分野：筆記試験とタブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 体育分野：基礎運動能力（背筋力、反復横とび、ジャンプ力、ソフトボール投げ） 家庭分野：与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 <p>・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書）により、第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、出願資格および出願要件の(2)(3)および本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 活動実績報告書の評価基準 志望分野に関するこれまでの活動実績（研究活動等の実績、外部の英語検定試験の成績、留学経験、大会・コンクール等の実績）を評価します。</p> <p>(3) 小論文の評価基準 学校教育に関する資料を提示してそれについて論述式の試験を行うことにより、文章理解力、資料の内容に関する知識、論理的な思考力、文章構成力、表現力を評価します。</p> <p>(4) 面接の評価基準 志望動機、専門領域に関する知識や理解、修学意欲、積極性、コミュニケーション能力等を評価し、将来中学校等の教員になるための適性を備えているかを判断します。</p> <p>(5) 適性検査の評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書）、小論文、面接及び適性検査（活動実績報告書の評価を含む）の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 英語分野：筆記試験とタブレット端末を用いた試験により、英語4技能を総合的に測定 理数分野：理科分野または数学分野に関する研究内容をまとめた資料（持参）をもとに発表及び質疑応答 音楽分野：専攻楽器（または声楽）の個別レッスン2回、ソルフェージュの個別レッスン1回 保健体育分野：基礎運動能力（背筋力、反復横とび、ジャンプ力、ソフトボール投げから2）及び学校体育教材（バスケットボール、サッカー、バレーボールから2）における運動技能 家庭分野：与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 技術分野：与えられたテーマについてレゴブロックを用いて作品をつくり、プレゼンテーション及び質疑応答 <p>・入学志願者が多く、適性検査を適切に行うことが困難な場合は、書類（調査書、志願理由書及び活動実績報告書）により、第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書、志願理由書、ポートフォリオ（※）の採点・評価基準 調査書では「各教科、科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。また、志願理由書とポートフォリオでは、活動実績と芸術表現に対する意欲を本コースのアドミッション・ポリシーに照らし評価します。 ※ポートフォリオは活動実績や作品などをA4用紙で5ページ以内のファイルにまとめて提出してください。</p> <p>(2) 面接の評価基準 熱意、修学意欲、積極性、主体性、発想力等を総合的に評価します。</p> <p>(3) 適性検査の採点・評価基準 教科・科目から判断される基礎学力とは異なる主体性や分析力、行動力及び考察力を重視した多面的・総合的な採点、評価を行います。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）、適性検査及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 <p>・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 模擬授業を受講後に作品制作を行います。 <p>・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及びポートフォリオ）による第1次選考を行う場合がある</p>
<p>(1) 調査書・志願理由書の評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および本コースの「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。 志願理由書では、本コースのアドミッション・ポリシーを踏まえた内容になっているかを確認します。</p> <p>(2) 特色加点の採点・評価基準（申請者のみ） 本コースのアドミッション・ポリシーに応じて、これまでの活動・実績を評価します。</p> <p>(3) 面接の評価基準 熱意、修学意欲、積極性、主体性等を総合的に評価します。</p> <p>(4) 小論文の採点基準 読解力、論理的思考力、分析力、考察力、企画力、発想力、表現力等を総合的に判断します。</p> <p>(5) 適性検査の採点・評価基準 コミュニケーション能力、論理性、表現力等を総合的に評価します。</p> <p>(6) 合否判定基準 書類（調査書、志願理由書、特色加点申請書〈申請者のみ〉）、小論文、適性検査及び面接の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査内容 与えられたテーマについてのプレゼンテーション資料の作成、個別発表及び質疑応答 <p>・特色加点について 申請する活動・実績は、高等学校入学以降に取り組んだ主体的な活動や実績であれば何でも構いません。地域デザインコースの学びを理解し、入学後に何を生かせるかなどをしっかりと考えた上で積極的にアピールしてください。申請内容を補完する根拠となる資料等も重要です。アドミッション・ポリシーで示す「地域社会が抱える問題に関心があり、芸術を通じて地域社会を機能的に繋げていける企画力、発想力、表現力」、「主体的なものごとに取り組むことができる積極的な行動力」、「高等学校入学以降の主体的な実績・活動」について総合的に評価します。活動・実績の具体例として、地域創生などに関わる主体的な活動、課外活動（部活動や生徒会活動など）における実績や取り組み、研究活動（高大連携活動〈SSH、SGH等を含む〉、総合的学習等での活動実績）、資格・検定試験など外部試験等の実績、海外留学経験、その他主体的な活動などが考えられます。</p> <p>・入学志願者が募集人員の約5倍を超えた場合は、書類（調査書、志願理由書及び特色加点申請書〈申請者のみ〉）による第1次選考を行う場合がある</p>

2020年度特別入試（AO入試Ⅰ）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

学部	学科	コース等	方式	募集人員	セ試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
								試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
理工学部	理工学科	数理分野 数理サイエンスコース	AO入試Ⅰ	5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2018年4月以降に卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2018年4月以降に修了した者及び2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年4月以降にこれに該当する者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野・・・数学Ⅲ、化学分野・・・数学Ⅲ、化学その他の分野・・・数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志望理由書、活動実績報告書	適性検査、面接（口頭試問を含む）	11/30	12/9	
		情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		8							
		化学分野 生命化学コース 応用化学コース		5							
		物理学分野 物理学コース		7							
		機械工学分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10							
		電気電子工学分野 電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		5							
		都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		4							
農学部	生物資源科学科	国際・地域マネジメントコース	AO入試Ⅰ	5	×	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2018年4月以降に卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2018年4月以降に修了した者及び2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年4月以降にこれに該当する者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 国際・地域マネジメントコースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、志望理由書、活動実績報告書	適性検査、面接	11/29		

※「セ試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望分野に対する意欲等について評価します。</p> <p>(3) 適性検査の採点・評価基準 志望する分野の適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査の内容</p> <p>数理分野：数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した数学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。出題範囲は、数学ⅠA、数学ⅡB、数学Ⅲとします。数学Bは「数列」、「ベクトル」から出題します。</p> <p>情報分野：問題文や資料等から処理手順を読み取り、そのアルゴリズムを示すことができるかについての論理的思考力を評価します（出題する内容に応じて、ペーパーテストまたは口頭試問により実施）。</p> <p>化学分野：化学実験などに関する動画や資料（写真や図表など）を題材に、知識のみならず論理プロセスも重視した化学や科学的思考力に対する適性を評価します（タブレット端末で問題を提示し、解答用紙に解答）。</p> <p>物理学分野：物理や数学の知識を活用した問題を出題することにより、知識のみならず論理プロセスも重視した物理に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。</p> <p>機械工学分野：機械工学に関連した事項を題材とした問題を出題することにより、高等学校で学ぶ知識のみならず問題解決能力や論理的思考力を重視した機械工学に対する適性を評価します。</p> <p>電気電子工学分野：電気及び力学に関する物理の問題を出題することにより、知識のみならず論理的思考力も重視した上で、電気電子工学に対する適性を評価します（ペーパーテストで実施）。</p> <p>都市工学分野：数学（数ⅡB（確率と統計・ベクトル・数列）・数Ⅲ（微分・積分）と物理（力学・熱力学・エネルギー・波動）に関する融合問題により、知識のみならず論理的思考も重視した数学と物理の素養を評価します（ペーパーテストで実施）。</p>
<p>(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 自己の目標や志望コースに対する意欲等について評価します。</p> <p>(3) 適性検査の採点・評価基準 志望するコースの適性及び基礎能力を評価します。</p> <p>(4) 合否判定基準 書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）、面接及び適性検査の各成績評価を総合して、合格者を決定します。</p>	<p>・適性検査内容 提示した課題や資料等（図表や動画を含む）を題材として、高等学校等で学ぶ基本的な統計処理や、食料・農業・環境・健康問題などに関する時事的な話題を含む基礎知識を前提に、分析力、判断力、論理的思考力、コミュニケーション力（発信力）、想像力の観点から、学習する力（適性）を総合的に評価します。課題や資料等の提示はタブレット端末を用いて行い、解答は解答紙への筆記や口頭（集団討論形式の場合もあり）で行います。</p>

5 2020年度特別入試（AO入試Ⅱ）出願資格・選抜方法〔理工，農〕

学部・学科等		方式	募集人員	出願資格および出願要件	提出書類	評価基準
理工学部 理工学科	数理分野 数理サイエンスコース	AO入試Ⅱ	2	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2018年4月以降に卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2018年4月以降に修了した者及び2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年4月以降にこれに該当する者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 志望分野への志望動機が明確で入学後も学習に対し意欲的に取り組む者 (3) 以下に指定している科目を履修している者 数理分野……数学Ⅲ 化学分野……数学Ⅲ、化学 その他の分野……数学Ⅲ、物理 (4) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および理工学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本分野で学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2) 合否判定基準 大学入試センター試験の成績及び書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）を総合して、合格者を決定します。
	情報分野 知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース		7			
	化学分野 生命化学コース 応用化学コース		15			
	物理学分野 物理学コース		3			
	機械工学分野 機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース		10			
	電気電子工学分野 電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース		12			
	都市工学分野 都市基盤工学コース 建築環境デザインコース		12			
農学部 生物資源科学科	生物科学コース	10	(1) 次の各号のいずれかに該当する者 ①高等学校若しくは中等教育学校を2018年4月以降に卒業した者及び2020年3月卒業見込みの者 ②通常の課程による12年の学校教育を2018年4月以降に修了した者及び2020年3月修了見込みの者 ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2018年4月以降にこれに該当する者及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者 (2) 各コースでの勉学を強く希望する者 (3) 合格した場合は、確実に入学できる者	調査書、 志望理由書、 活動実績報告書	(1) 書類審査の採点・評価基準 調査書では、「各教科・科目等の学習の記録」「評定平均値」「出席状況」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」等について、出願要件および生物資源科学科の「求める学生像」から著しく逸脱していないかを確認します。志望理由書では、「本コースで学びたいという強い意欲」について評価します。活動実績報告書では、申請された活動実績の内容について、「専門分野に対する強い興味・関心及び主体的に学び続けようとする意欲と態度」、「自ら学びを深めようとする行動や姿勢を通して、本学部の教育・研究活動を活性化できる可能性」の観点から評価します。 調査書、志望理由書および活動実績報告書のそれぞれの評価を考慮しながら、総合的に評価したものを書類審査の得点とします。 (2) 合否判定基準 大学入試センター試験の成績及び書類（調査書、志望理由書及び活動実績報告書等）を総合して、合格者を決定します。	
	食資源環境科学コース	8				
	生命機能科学コース	10				

【表の見方】

- ①◎は必須教科の必須科目、○は必須教科の選択科目。
- ②大学入試センター試験では「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は必ず2科目セットでの選択が必要。この場合の科目数は2つ合わせて「1科目」として扱う。
- ③大学入試センター試験の理科における受験パターンをA～Dで表示。Aは基礎2科目、Bは基礎2科目又は専門1科目、Cは基礎2科目及び専門1科目、Dは専門2科目。
- ④大学入試センター試験外国語の英語はリスニングの受験が必須です。

6 2020年度特別入試（帰国子女，社会人）出願資格・選抜方法〔医，理工，農〕

学部	学科	方式	募集人員	七試	出願資格および出願要件	提出書類	試験			
							試験方法	出願期間	試験日	合格者発表日
医学部	医学科	帰国子女	若干人	×	<p>日本の国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、外国の学校教育を受けた者のうち、保護者とともに2年以上継続して外国に在留し、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>ただし、2018年3月31日以前に帰国（一時的な短期の帰国を除く）した者及び保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの期間が2年以上経過した者は、出願を認めません。</p> <p>(1) 学校教育における12年の課程を2018年4月1日から2020年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者で、原則として、外国において最終学年を含め、2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者</p> <p>ただし、外国に設置された学校等であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、「2年以上」という期間には算入しません。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレアの資格証書を2018年又は2019年に授与された者。</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2018年又は2019年に授与された者。</p> <p>(4) フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を2018年又は2019年に授与された者。</p> <p>(5) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を取得した者。</p> <p>(6) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から認定を受けた外国に所在する教育施設において、12年の課程を修了した者。</p>	証明書類	学力検査（数学・理科・外国語）、面接	2/25～2/26	2/25～2/26	3/7
	農学部	生物資源科学科	若干人	×	<p>2020年4月1日現在、年齢が満21歳以上であり、社会人として3年以上の経験を有し、看護学を修め、卒業後看護の分野で就業する意思のある者で、次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校（以下「高等学校」と言う）を卒業した者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p> <p>注）社会人の期間には、学校等（予備校、大学、専修学校高等課程・専門課程）の在学期間は含まない</p>	調査書等、成績証明書、志願理由書	小論文、面接	11/1～11/8	11/30	12/9
医学部	看護学科	社会人	若干人	×						

※「七試」とは大学入試センター試験を示す。

評価基準	その他要件等
<p>(1) 学力検査の教科名・科目名等 数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(注) 理科 物基・物、化基・化 外国語 コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ (注) 数学は、数Ⅰ、数Ⅱ、数Ⅲ、数Aは全範囲から出題します。数Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。</p> <p>(3) 合否判定基準 学力検査、面接、提出書類を総合して最終的な合格者を決定します。 なお、面接の評価が低い場合は不合格とすることがあります。</p>	
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 出題されたテーマについて、解釈力、論理的思考力、表現力及び記述力等を見ます。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 必要な基礎知識、自己の目標、志望学科に対する意欲を問います。</p> <p>(3) 合否判定基準 書類（成績証明書等）、小論文及び面接等の結果を資料として判定の上、合格者を決定します。</p>	
<p>(1) 小論文の採点・評価基準 資料を提示のうえ、論述式の試験を行うことにより、病める人の身になって医療を実践できる良き医療人となるにふさわしい人間性及び種々の問題を科学的・論理的に思考し、それを解決しうる能力を評価します。</p> <p>(2) 面接の採点・評価基準 これまでの社会人としての経験を生かした、看護学科志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通じて評価し、将来優れた看護職者になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断します。 なお、志願理由書及び調査書は面接にあたって参考にします。</p> <p>(3) 合否判定基準 小論文及び面接の結果を総合して、合格者を決定します。 小論文及び面接の配点 小論文200点、面接60点（総得点260点）</p>	

7 特別入試（推薦入試Ⅰ，AO入試Ⅰ）の配点について

推薦入試Ⅰ

学部、学科・課程等名		区分		書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文	面接	実技検査	その他	大学入試 センター 試験	総合得点 (総合評価)	特色 加点
		書類審査 (調査書, 推薦書等)	小論文								
教育学部	学校教育課程	幼小連携教育コース 特別支援教育専攻		50	150	150		50 (注1)		400	
		小中連携教育コース 初等教育主免専攻 [佐賀県枠]		50	100	150		200 (注1)		500	
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科 芸術表現コース 有田セラミック分野			300		300	400			1000	
経済学部	経済学科	商業系の科・ 情報系の科・ 総合学科推薦	2段階評価 (合, 否)	100	2段階評価 (合, 否)					2段階評価 (合, 否) (注2)	40
	経営学科										20
	全学科	普通科又はこれに準ずると 本学部が認める科推薦									
医学部	看護学科			150	200	150				500	
理工学部	理工学科	知能情報システム工学コース	3段階評価	3段階評価	4段階評価			3段階評価 (注3)		5段階評価	
		情報ネットワーク工学コース									
		生命化学コース									
		応用化学コース									
		機械エネルギー工学コース									
		メカニカルデザインコース									
電気エネルギー工学コース											
電子デバイス工学コース											
都市基盤工学コース											
建築環境デザインコース											
農学部	生物資源科学科	生物科学コース		100	100	100		200 (注3)		500	
		食資源環境科学コース		100	200	200		100 (注3)		600	
		生命機能科学コース		150	200	200		50 (注3)		600	

(注1) 基礎学力試験

(注2) 特色加点の得点を加味して評価します。

(注3) 基礎学力・学習力テスト

AO 入試 I

学部, 学科・課程等名			区分	書類審査 (調査書, 志願理由書等)	小論文	面接	適性検査	大学入試 センター 試験	総合得点 (総合評価)	特色加点
教育学部	学校教育課程	小中連携教育コース	初等教育主免専攻	100	100	150	200 (注1)	/	550	/
			中等教育主免専攻							
芸術地域デザイン学部	芸術地域デザイン学科	芸術表現コース	美術・工芸分野	200	/	200 (注2)	400	/	800	/
			有田セラミック分野							
			地域デザインコース	2段階評価 合, 否	300	200	500 (注3)	/	1000	100
理工学部理工学科	数理サイエンスコース		3段階評価	/	/	4段階評価	5段階評価	/	5段階評価	/
	知能情報システム工学コース 情報ネットワーク工学コース									
	生命化学コース 応用化学コース									
	物理学コース									
	機械エネルギー工学コース メカニカルデザインコース									
	電気エネルギー工学コース 電子デバイス工学コース									
	都市基盤工学コース 建築環境デザインコース									
農学部 生物資源科学科 国際・地域マネジメントコース			150	/	150	200	/	500	/	

(注1) 適性検査の評価に活動実績報告書の評価も含まれます。

(注2) 面接は適性検査に関する質疑応答を含みます。

(注3) プレゼンテーション資料作成の評価を300点, プレゼンテーション及び質疑応答の評価を200点とします。

8 特色加点制度について (特別入試)

「特色加点」とは、志願者の積極的なアピールと高等学校入学以降の主体的な活動を喚起することを目的とした佐賀大学の新しい制度です。センター試験、個別試験などの合計点(以下、「当初配点」という。)とは別に、書類審査として加点枠を設けます。

特色加点は、志願者が取り組んできた様々な活動や実績を踏まえた申請内容を評価の対象とします。申請された活動・実績の概要や取り組み状況, 志望分野との関連性, 入学後に期待できる主体的な学習行動や活動, 根拠資料の内容等について, アドミッション・ポリシーの観点から評価します。志願者の申請を原則とし, 申請がなければ当初配点のみで合否判定を行います。

VII 私費外国人留学生入試

本学では、私費外国人留学生のために特別の学力検査等を実施します。

1 出願資格

日本の国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(2019年6月又は2019年11月実施のいずれか、医学部は2019年11月実施のみ)を受験し、TOEFLを受験済みの者(経済学部を除く。)で、次に掲げる入学資格を有する者

- (1) 日本国外において、学校教育による12年の課程を修了した者及び2020年3月までに修了見込みの者
- (2) 上記(1)に準ずる者で、文部科学大臣の指定する者

2 募集人員

各学部(教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 医学部(医学科), 理工学部, 農学部)とも若干人

3 入学者選抜方法

- (1) 教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部

入学者の選抜は、次頁のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績(経済学部を除く)並びに本学が行う学力検査・面接等の成績を総合的に判断し最終的な合格者を決定します。

- (2) 医学部

入学者の選抜は、次表のとおり独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の成績及びTOEFLの成績並びに本学が行う学力検査・面接を総合的に判断し最終的な合格者を決定します。

※学力検査の教科・科目名等

数 学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B (注)

理 科 物基・物, 化基・化

外国語 コミュ英Ⅰ・コミュ英Ⅱ・コミュ英Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ

(注) 数学は、数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数Aは全範囲から出題します。数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題範囲とします。

事 項	教育学部		芸術地域 デザイン学部		経済学部	医学部	理工学部	農学部
			芸術表現コース	地域デザインコース				
利用する回の指定	6月, 11月のいずれか		6月, 11月のいずれか		6月, 11月のいずれか	11月	6月, 11月のいずれか	6月, 11月のいずれか
出題言語の指定	日本語		日本語		日本語	日本語	日本語又は英語	日本語
文系と理系の別	文系	理系	文系		文系	理系	理系	理系
日本留学試験 目 科	日 本 語	○	○	○	○	○	○	○
	理 科	/	○	/	/	○	○	○
	数学(コース1)	△	△	△	○	/	/	/
	数学(コース2)	△	△	△	/	○	○	○
	総 合 科 目	○	/	○	○	/	/	/
理科の選択科目	/	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	/	/	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	「物理」, 「化学」, 「生物」から 2科目選択	
TOEFL	○		○		/	○	○	○
学力検査等	面接, 日本語(作文)		面接, 実技検査	面接, 日本語(作文)	面接, 日本語	面接, 学力検査	面接 (口頭試問を含む)	面接
特記事項, 備考	面接を通じて, 教育学部の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。		鉛筆による デッサン (実技道具は大学で準備します。)		日本語は, 読解及び作文とします。	面接を通じて, 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。また, 口頭試問によって志望分野に必要な学力について評価します。	面接を通じて, 志望学科の学業に対する熱意と適性があるかどうかを判断します。	

(注1) ○印は, 必ず受験しておくことを示します。

(注2) △印は, 数学のコース1又はコース2から1つを受験しておくことを示します。

(注3) 各学部第1志望のみ。

日本留学試験, TOEFL, 学力検査等の配点等

事 項	教育学部		芸術地域 デザイン学部		経済学部	医学部	理工学部	農学部
			芸術表現コース	地域デザインコース				
文系と理系の別	文系	理系	文系		文系	理系	理系	理系
日 本 語	450	450	450		325	450	450	450
理 科	/	200	/		/	200	200	200
数 学	200	200	200		100	200	200	200
総 合 科 目	200	/	200		100	/	/	/
TOEFL	300		300		/	300	300	300
面 接	400	400	500	400	合, 否	60	A, B, C	850
日 本 語	500	500	500		300	/	/	/
学 力 検 査	/		/		/	240	/	/
実 技 検 査	/		400	/	/	/	/	/
総 合 評 価 等	2050		2050		合, 否	合, 否	良, 可, 不可	合, 否

4 入試日程

学 部	出願期間	試 験 日	合格者発表日
教育学部, 芸術地域デザイン学部, 経済学部, 理工学部, 農学部	2019年11月20日(水)	2020年2月28日(金)	2020年3月7日(土)
医学部	2019年11月25日(月)	2020年2月25日(火) 2020年2月26日(水)	